

海外安全対策情報

【2022年4月～6月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについ
て、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好とされていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生して
おり、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様としては、殺人等の凶悪事件や窃盗事件をはじめ、痴漢や盗撮
等の性犯罪や違法薬物犯罪のほか、特に詐欺被害が多発しており、微信や支付宝等の
電子決済機能を悪用した電信詐欺が後を絶たない状況にあります。さらに、飲酒や交
通マナーに伴う揉め事が多発傾向にあり、特に飲酒に起因した事案では、傷害事件や
警察官に対する公務執行妨害等に発展したケースも報道されています。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しな
いことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自
己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。さらに、売春など
の性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間盛り場な
どでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意し
ながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華やかな服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 強行犯事件

ア 淄博市女性殺人事件（淄博市）

淄博市公安局張店分局は4月30日、殺人容疑で行方を追っていた李某を、安徽
省内で発見し逮捕した。同局は4月20日、前日の朝に家を出てから娘が帰って来
ないとの訴え出を受けて捜査を開始したところ、同女がネット配車アプリで郊外へ
向かい、森の中で男が運転する電動バイクに乗り換えたことがわかった。その後、
森の中にある簡易家屋付近で同女の遺体を発見し、同家屋に居住する李某の行方を

追っていた。李某は、同女と以前口論となり、ずっと恨みを抱いていたことから、自分の家に呼び出して殺害した旨を供述している。

イ 逃走 15 年の殺人犯を逮捕（青島市）

青島市公安局港航分局は近日、2007 年 2 月 12 日に青島市内で発生した殺人事件について、15 年間逃走を続けた犯人楊某を逮捕した。本事件は、某会社経理が雇った者による請負殺人であり、当時同経理と共犯 3 人は検挙されたが主犯の楊某だけが逃走していた。同局は本年 3 月、楊某が黒竜江省鶏西市に潜伏している事を突き止め、同市の某酒造所内で逮捕した。

（2）詐欺等知能犯事件

ア 12 歳小学生が詐欺被害（菏泽市）

3 月 20 日午後、菏泽市に住む 12 歳の小学生が母親のスマホを使用し、ゲームをするために自分の QQ アカウントを登録したところ、見知らぬ人物に誘導されて 3 万元を騙し取られる事件が発生した。児童の父親によれば、犯人はまずゲーム上で児童に友達登録を申請し、さらに QR コードを送りつけてスキャンさせ、“10 万元の賠償金”という表示により児童を慌てさせたという。犯人はその後、多数の支払コードを送りつけ、児童を誰もいない場所に誘導して電話で指示をしながら 29 回に分けて 28,000 元余りを支払させた。

3 月 24 日夜、母親が口座残金がほとんど無くなっていることに気付き、スキミング被害だと思い警察に通報したが、その翌日に児童が自白したことにより事件が発覚した。現在までのところ、同一の病院やコンビニ等へ送金されたことがわかっているが、監視カメラの故障により受け取った者の特定には至っていない。

イ 孫を騙った振り込め詐欺事件（青島市）

昨年 7 月に発生した詐欺事件について、被害金額 10 万元の返金を受けた男性の息子が 4 月 18 日、市北分局大港派出所を訪れて感謝の意を示すとともに錦旗を贈呈した。この事件は、80 歳の男性が孫を名乗る若い男から「喧嘩した相手に怪我をさせてしまった。10 万元払わないと通報されて警察に捕まる。誰にも言わずに振り込んで欲しい。」との電話を受け、海外留学をしている孫と誤認して 10 万元を振り込んでしまった事件である。事件の翌日、知らせを受けた男性の息子が大港派出所に届け出て直ちに口座を凍結し、被害に至ることはなかったが、コロナの影響で返金の手続きが進んでいなかった。

ウ マネーロンダリンググループの摘発（淄博市）

淄博市公安局淄川分局は近日、海外のネット賭博や電信詐欺組織を専門に資金洗浄を請け負っていた犯罪グループを摘発し、被疑者 14 人を検挙、犯行に使われたスマホ 130 台、キャッシュカード 15 枚、パソコン 8 台等及び犯行にかかる 1,000 万元余りを押収した。犯行グループは、多額の入金を受けた後、少額ずつ換金する方法で総額 1,000 万元余りを資金洗浄していたと見られ、某被疑者によれば、“紙飛行機”と呼ばれる海外チャットソフトを通じて指示を受けていたという。

エ 増値税専用発票の虚偽作成事案（済南市）

済南市公安局槐蔭分局は近日、済南市某物資有限会社による増値税専用発票の虚偽作成事案につき、9 件を摘発して 15 人に強制措置を行い、2 か所を捜索してパソ

海外安全対策情報

コンや会計帳簿等を押収した。

同局は、2021年6月から同社の売買に矛盾があることに目を付け、専門捜査チームを結成して捜査した結果、同社や他の貿易会社が2018年頃から多数のペーパーカンパニーを設置し、電子製品を購入した発票を別の製品名に書き換えて別の企業に販売するなどして正常な税収管理秩序を乱していたことが判明した。本事件は、税額1.2億元余りに及び、現在5,800萬元余りを回収しているところ、全国でも100件余りが立件され、60余名が逮捕されている。

オ 小学生がスマホゲームで詐欺被害（済南市）

済南市在住の11歳の小学生が、スマホゲーム「PUBG」を通じて知り合ったゲームが得意な男と師弟関係になり、御礼として7,000元を詐取される事件が発生した。小学生は、母親のスマホでゲームをダウンロードし、偶然知り合った男のおかげで度々1位になることができたことから、男に弟子となることを志願した。男は、小学生と微信グループを作成して御礼を要求し、御礼を受け取ると多数のゲーム内装備を返礼として贈ってきたことから、小学生は数十回に分けて総額7,000元のラッキーマネーを送金してしまったという。その後、男は装備を贈ってこないどころか微信グループも解散させられたことから、小学生は母親と共に警察へ通報し、送金記録から被疑者2人が逮捕された。済南市公安局は、10歳前後の児童が最も騙されやすいため、保護者は暗証番号無しや顔認証等の支払い方法を利用するべきではないとしている。

カ 偽ブランド服販売事件（菏泽市）

菏泽市公安局が昨年6月に摘発した偽ブランド服販売事件が4月、検察機関に公訴を提起され審理が続いている。犯人らは、2014年から輸入品の在庫処分としてネットショップや実店舗で偽ブランド服を販売しており、定期的に商品名を変更するなどして発覚を逃れていた。また、8名のインフルエンサーを使って複数の生放送で同時販売するなどの方法を用い、500万人のファンが存在したという。昨年の6・18では、700余りの偽ブランド服ネットショップが販売サイトの厳格な管理の下、閉店または整理されている。

キ 増値税専用発票の特大虚偽発行事件の摘発（青島市）

青島市公安局は昨年4月、全国の関連公安機関と共に30億元を超える増値税専門発票の虚偽発行事件を摘発し、アジト5か所を捜索し1,000萬元以上の関連資金を凍結した。公安機関は現在、すでに130余人を処分し、さらに捜査が続けられている。

青島税務査察部門は昨年1月、企業10社の疑わしい発票を発見して公安機関に情報を提供した。公安機関の捜査の結果、中国が農林業保護のため税優遇措置を実施しているところ、その中の2社が“農業合作社”から木材を購入し、加工して他社に販売しているように見せかけ、実際は虚偽の増値税専用発票を発行していたことが判明した。本事案では3万5,000を超える発票が発行され、金額は30億元以上、28の省市区に及んでいる。

(3) 窃盗事件

ア バイク利用車上ねらい事件（徳州市）

徳州市在住の男性は3月10日朝、乗車して外出しようとしたところ車に鍵が掛

海外安全対策情報

かつておらず、現金 2,700 元がなくなっていることに気づき警察に通報した。浜海公安局が駐車場及び社区周辺の防犯カメラ映像を確認したところ、バイクに乗った男が車両のドアを開けて現金を盗み、立ち去っている映像を発見した。その後、速やかに被疑者の住居を特定してその日のうちに被疑者を検挙し、犯行に使用されたバイク 1 台を押収した上、被害に遭った現金全額を被害者に返還した。

イ 工事場ねらい（東営市）

東営市公安局東営分局は 4 月 6 日、9 万元相当のケーブルが盗まれたと管内企業から通報を受けて直ちに捜査し、点検修理員として出入りしていた被疑者 2 人を検挙した。被疑者らは某業者の点検修理員で、多数の企業へ点検修理の名目で侵入し、鉄パイプやケーブル等の資材を盗み廃品回収業者に転売していたという。被疑者らは、同様の手口で 109 件の犯行を重ね、20 万元余りを荒稼ぎしていた。

ウ ゲームアカウント窃盗事件（青島市）

ゲームアカウントを売却後に自ら取り返し、即墨区検察から窃盗罪で起訴された李某ら 2 人が、一審判決で拘留 5 か月、執行猶予 6 か月、罰金 2,000 元の併科となった。去年 6 月、20 歳になったばかりの李某は自分が長年使用した「王者の誉れ」アカウントを 1 万元で売却し、相手と如何なる理由があっても取り戻さないと約束した。しかし、1 か月後にスマホの顔認証機能を使って取り戻したことから通報され、罪を認めて相手に 3 万元を支払ったという。相手は、李某らの窃盗行為を許し刑事責任を問わなかったが、検察は犯罪を構成しているとして公訴を提起していた。

エ 砂専門窃盗グループの摘発（青島市）

青島市公安局黄島公安分局は近日、砂専門の窃盗グループを摘発し、被疑者 19 人を逮捕、車両 7 台と掘削機 2 台を押収した。3 月下旬、宝山鎮白家屯村内で掘削された痕跡が発見され捜査が開始されていたところ、警察官が同月 30 日早朝に現場周辺で砂を満載したダンプカー 2 台を発見、運転手らを逮捕し、その後の捜査で犯罪に関与した被疑者らを相次いで逮捕した。窃盗グループは、これまでに 393 台分の砂を盗み、39 万元の利益を得ていた。

（4）薬物関連事件

ア ケシの違法栽培を警察ドローンが発見（済南市）

済南市公安局歴城分局は 4 月 13 日、警察ドローンの調査により某村の畑に数十株のケシが植えられていることが確認されたことから、現場へ赴いて伐採を行い、現在も栽培者の特定捜査を継続している。今回の事件では 73 株のケシが発見され、“治安管理処罰法”上の 500 株未満の薬物原料植物の栽培にあたることから、10 日以上 15 日以下の拘留と 3,000 元以下の罰金の併科となり、情状が軽い場合は 5 日以下の拘留と 500 元以下の罰金となる。ケシが成熟する前に自ら伐採すれば処罰されない。

刑法上は、500 株以上 3,000 株未満のケシ又は他の薬物原料植物を栽培すれば強制伐採と 5 年以下の有期懲役及び罰金が併科される。ケシは、3 月から 11 月に開花・結実する一年生植物で、病気の治療や調味料に使用される。

イ 違法植物栽培事件（済南市）

済南市公安局歴城分局は 4 月、ドローンによるパトロール中に某民家の庭に大量のケシが植えられているのを発見したことから、直ちに所有者の男を刑事強制措置と

海外安全対策情報

し、1,200株のケシを伐採した。違法植物栽培による刑事犯罪としては、済南市で本年発のケースとなる。警察によれば、違法植物栽培事件は数十株のものがほとんどであり、千株を超えるものはまれだという。男は、偶然ケシを使って病気を治す方法を知り、体調が悪かったことから自宅の庭に植えたと供述している。

(5) その他特異事案

ア 煙台市で初の伝染病予防治療妨害判決（煙台市）

煙台市芝罘区裁判所は4月28日、感染拡大時期に予防治療を妨害したとする事案を審理し、被告人に懲役8か月、執行猶予1年の判決を下した。煙台市で初の伝染病予防治療妨害判決となる。

被告人は、煙台市の港で韓国コンテナの荷下ろし作業に従事しており、期間中は規定で宿泊場所等行動が管理されるどころ、3月8日、10日の2回規定を破って外出し、息子の経営する配達所や薬局等の公共の場所を訪れ、多数の親族と会っていた。3月11日、12日と2度陽性になり、煙台市奇山病院で隔離治療となったが、被告人の同行者により濃厚接触者と二次濃厚接触者、重点対象者200余人及び二次濃厚接触者の管理者120余人に隔離等の措置が執られ、その住居、行動範囲及び感染疑いのある4か所の重要地点が封鎖管理された。

イ マンション廊下でヘビが見つかり消防が捕獲（青島市）

6月18日午前11時頃、黄島消防救援大隊は、西海岸新区浜海街道星悦城社区からマンション廊下に大蛇がいるとの通報を受けて直ちに臨場し、現場で太さ指3本分（約6cm）、全長1m余り、背部が黒と黄模様のシュウダ（王錦蛇）を捕獲した。消防隊員は、蛇捕獲用の長柄挟みで頭を抑え、蛇が疲れるのを待ってから袋に閉じ込め、その後屋外の無人地域に放したという。シュウダは無毒だが、消防は蛇類に遭遇した際はすぐに連絡するよう呼びかけている。

ウ 少年による高所投てき事件で女性死亡（青島市）

5月31日、夕食を終えて散歩していた女性の頭部に、付近のビルから投げ落とされたA3コピー用紙1ケースがぶつかり、女性が死亡する事件が発生した。投げ落とした犯人は16歳未満の少年であり、刑事責任は問われない。死亡した女性の息子である朱亮氏によれば、現場は市南区の某オフィスビル28階であり、犯人の学生は当時、教育機関で自習中に突然トイレの窓からトイレトーパーを投げ落とし、次に投げたA3コピー用紙が女性の命を奪ったという。また、朱亮氏はこれまでに犯人の家族と会ったことはなく、謝罪の言葉もないことから、提出した刑事再議の結果を待つ民事訴訟手続きを進める予定である。

エ わいせつ動画販売事件（菏泽市）

菏泽市公安局牡丹分局は近日、犯罪収益が1億元余りに上る巨大なわいせつ動画配信グループを摘発した。同局は昨年10月、管内にわいせつ動画を配信し、利益を得ている者がいることを発見して捜査した結果、12月に韓某を逮捕するとともに、10台以上の携帯電話を押収した。韓某は、複数の微信アカウントと微信グループを作成し、各グループ400～500人のメンバーに対して大量のわいせつ動画やURLを投稿し利益を得ていた。動画は一つ4元を支払えば視聴可能で、2～3元が韓某の口座に入り、約2か月で40万件を稼いだという。同局はさらに韓某のキャッシュカードを解析し、資金の流れから湖南省、福建省、江西省等で関連する被疑者らを

海外安全対策情報

逮捕した。すでに 51 人の被疑者に刑事強制措置が執られており、現在も捜査が続けられている。

4. 治安対策等報道

(1) “信用回復”名目の違法産業（全国）

不動産業者が、信用情報が悪く住宅ローンが借りられない人に“信用回復”業者を紹介する。信用記録への関心が高まる中で、信用回復を名目に金儲けを企む者が詐欺や公文書偽造等の犯罪を行っており、信用回復という名の違法産業が形成されつつある。中国人民銀行は、「“信用回復”行為の統制に関する“百日行動”作業通知」を发出し、同行為を厳しく取り締まっている。同銀行青島中心支店員によれば、「合法的にお金で信用回復”などと謳うものは全て詐欺であり、信用情報に疑義があれば金融機関に問い合わせるべき。如何なる費用も取らない。」という。

「信用調査業務管理条例」によれば、調査機関が収集、保存、提供した情報に誤りがあれば、調査機関又は情報提供者に修正を求めることができ、誤りが認められた場合は修正される。また、調査機関が保存する信用情報の期限は不良行為又は事件終了日から 5 年であり、期限後は削除される。

(2) “顔偽造”詐欺事件が多発（全国）

近年、スマホアプリや支払インターフェース、ゲート通過等で知らぬ間に顔データを盗まれ、“顔偽造”詐欺に遭う被害が各地で多発している。音声・画像等の合成技術の乱用は、顔・声紋・指紋等の生体個人情報への挑戦となる。

2021 年 4 月、安徽省で検挙された犯罪グループは、AI を活用して他人の顔動画を偽造しており、警察の突入時には犯人らがパソコン上で一枚の顔写真から顔く・首を振る・目をつぶる・口を開く・眉間にしわを寄せるなどの豊富な表情を作成していた。動画の作成は容易で一つ 2~10 円でやりとりされ、顧客も多く利益は膨大だという。現行法では、情報技術を使用して他人の肖像権を侵害することは禁止されているが具体的な規定はなく、他人の写真を収集して顔や指紋・DNA、虹彩等の生体個人情報を使用する行為がどの範囲で犯罪を構成し処罰されるのか、司法の明確な指針が必要である。多様な“顔偽造”詐欺から身を守るためには、むやみに顔や指紋等の生体個人情報を他人に提供せず、過度に動画の公開や共有をせず、ネット送金の前に電話や画像等で相手の身分を確認するなどの意識付けが必要だ。

(3) 青島市検察院による過去 5 年間の統計（青島市）

青島市第 17 期人大第 1 回会議第 2 回全体会議における段連才・市検察院代理検察長による業務報告は以下の通り。

- ① 金融詐欺、不法集金、マネーロンダリング等の金融管理秩序を乱す犯罪者 2,286 人検挙。
- ② コロナ関連商品の偽造、販売、デマの流布等疫病関連の犯罪者 109 人検挙。
- ③ 商標権や特許権等に係る犯罪者 769 人検挙。
- ④ 輸出税還付の詐取、外貨の詐取や国外不正持ち出し、密輸等の犯罪者 1,804 人検挙。
- ⑤ 反腐敗闘争に関し、監査委員から移送を受けた職務犯罪 301 件を受理して 277 件を起訴。うち省部級幹部は 3 人、庁局級は 22 人、県処級が 33 人。
- ⑥ 刑事事件の犯罪者を 22,705 人逮捕。起訴したのは 54,191 人で、うち故意殺人や強盗等の粗暴犯は 1,114 人、窃盗や危険運転等の多発性犯罪者が 29,285 人。
- ⑦ マフィア関連犯罪者を 418 人逮捕、994 人を起訴。マフィアや犯罪組織 84 団体と

海外安全対策情報

- 12.5 億元の財産を処分、マフィア庇護者に関する手掛かりを 639 個発見。
- ⑧ 電信ネット詐欺や個人情報漏洩等犯罪者 1,270 人を処分。
 - ⑨ 高所投てき、井戸の不備による傷害、不良食品・薬品の製造販売等の民生福祉に関する犯罪 604 件を処分し、違法業者 136 社の取締りに協力。
 - ⑩ 環境資源破壊に関する犯罪者 958 人を起訴、環境保護に関する事件 469 件を処理して 29 社の汚染業者を営業停止、生態修復費用 5,592 万元を追徴。
 - ⑪ 捜査活動の違法性調査を 1,731 回実施し、767 の事件を不起訴とした。
 - ⑫ 抗訴・再審の検察建議を裁判所に 214 件提出し、187 件の判決が変わるか若しくは差し戻された。
 - ⑬ 環境資源や食品薬品、安全生産について 1827 件の事件を処理し、公益損害賠償制度により 7,560 万元を追徴又は賠償させた。

(4) 青島市法院による過去 5 年間の統計 (青島市)

青島市第 17 期人大第 1 回会議第 2 回全体会議における張正智・市中級法院代理院長による業務報告は以下の通り。

- ① 市法院の全受理件数は 115.9 万件、処理 115.2 万件で全省トップクラス。
- ② 刑事事件 4.3 万件を結審し、5.2 万人を処分。
- ③ マフィアや犯罪グループ関連の 147 事件 879 人を結審し、299 人を 5 年以上の有期懲役とした。
- ④ マフィア庇護者として 6 人を処分し、574 人から 7.1 億元の罰金や個人資産の没収。
- ⑤ 粗暴犯 7,216 件を結審し、警察官 (別立福氏) を殺害した者に死刑判決。
- ⑥ 薬物犯罪 3,340 件、経済犯罪 1,308 件、職務犯罪 491 件を結審。
- ⑦ 女性や子供、老人を狙った犯罪 1,453 件、家庭内案件 7 万件を結審し、57 の反家庭内暴力人身安全保護命令を発行。未成年による犯罪 422 件を結審。
- ⑧ 執行部門が 32.3 万件、932.2 億元分の案件を処理したほか、8.4 万人をブラックリストに入れ、2.9 万人の信用情報を修復。4,173 件 275.5 億元分のネットオークションを成立させた。

(5) 感染予防妨害行為の具体例 (済南市)

済南市公安局の鄭宏党委員・副政委は、4 月以降、済南市で感染予防に係る刑事事件 6 件、行政事件 179 件を処理し、81 人を行政拘留、38 人を罰金処分、15 人を行政警告としたことを発表した。5 月 3 日には、済南市感染予防計画経済運営指揮部が「感染予防法違反行為の処罰に関する通告」を発表し、感染予防妨害行為が法的結果を発生させることを市民に広く通告した。鄭宏氏が示した 12 種類の具体的な違反行為は次の通り。

- ① 調査への協力を拒否し、医療関係者や調査員に疫病関連情報を虚偽報告する行為
- ② 交通機関、市場、病院等公共の場所で、告知されてもコードの読み取り、登録を拒否する行為
- ③ 正当な理由無く PCR 検査に参加せず、または他人に替わって検査を受ける行為
- ④ PCR 検査証明書を偽造、変造し、または偽造、変造した同証明書を売買、使用する行為
- ⑤ ハイリスク区域の規定を遵守せず、集合、訪問、または私的に外出する行為
- ⑥ 防疫上の要求から関係部門が感染疑いのある場所を消毒する作業について協力しない行為
- ⑦ 虚偽情報流布、または虚偽情報と知りながらネットやメディアでデマを流す行為
- ⑧ 国家基準に適合しないマスク、手袋、防護服等の医療器材を生産、販売する行為

海外安全対策情報

- ⑨ 感染予防期に薬局が解熱剤、咳止め等の薬品を販売したり、発熱外来の無い医療機関が私的に発熱患者を受診し、感染の危険を発生させる行為
- ⑩ PCR 検査機関が虚偽報告により感染拡大の危険を発生させる行為
- ⑪ 健康コードや行程コード等を確認せず、または労働者情報の虚偽登録や旅客情報の隠蔽により感染拡大リスクを発生させる行為
- ⑫ その他感染予防職員の職務を妨害し、公共の安全と感染予防活動の秩序を乱す行為
これらの行為は、治安管理处罰法により行政処罰となる可能性があるほか、犯罪を構成すれば刑事責任が問われる。

(6) 2021 年山東省“ポルノ・海賊版一掃”10 大事件（山東省）

山東省は 2021 年、380 件のポルノや海賊版に関する事案を処理し、33 件を事件化、71 人を処分した。省公安厅は、典型性や影響力等を総合的に考慮して 10 大事件を公表した。

- ① 枣庄市の違法出版物製造販売事件。アジト 27 か所を捜索して 126 人を逮捕。印刷設備 131 台、違法出版物 10 万冊を押収。事件関与金額 7 億元、不法に得た利益は 3,200 万元に上る。
- ② 徳州市の違法出版物製造販売事件。違法出版物 1.96 万冊を押収。事件関与金額 47.5 万元。
- ③ 淄博市の小中学校用教材に関する海賊版製造販売事件。アジト 6 か所を捜索して 15 人を逮捕。現場で海賊版教材 170 万冊を押収。
- ④ 済南市の著作権侵害事件。印刷・輸送・販売を担う犯罪グループを解明して 24 人を逮捕、アジト 10 か所を捜索し、海賊版 30 万冊を押収。事件関与金額は 2,000 万元。
- ⑤ 済南市のネットゲームに関する著作権侵害事件。14 人を逮捕し、大型サーバ 29 台と仮想サーバ 960 余りを押収。ネットゲーム「問道」を勝手に運営して 1 億元近い利益を得ていた。
- ⑥ 淄博市のポルノ動画販売事件。ネット掲示板でポルノ動画を販売した 7 人を逮捕、未成年のもの 500 部を含むわいせつ動画 2 万部を押収した。
- ⑦ 濰坊市の組織的ポルノ動画配信事件。複数のアプリでポルノ動画を配信した 31 人を逮捕。
- ⑧ 泰安市の組織的ポルノ動画配信事件。113 人逮捕、スマホ 268 台を押収し資金 1,468 万元を凍結。
- ⑨ 威海市のポルノ動画配信事件。被疑者は海外サーバからポルノ情報を提供し、チャンネル登録者が 10 万人、総視聴数は 100 万回に達しており、337 万元の利益を得ていた。
- ⑩ 日照市某娯楽会社による違法楽曲配信事件。同社が運営する KTV の曲の中に禁止された曲が入っており、削除させるとともに罰金 1 万元の行政処罰とした。

(7) ヘルメット着用義務違反の取締り（濰坊市）

高密市交通警察は、5 月 1 日の「山東省電動自転車管理弁法」施行後、独自開発した「非自動車監視システム」の運用を開始した。初めてヘルメット着用義務違反を犯した市民を撮影記録化し、再度の違反時にこれを証拠として処罰する。同システム運用後、電動自転車のヘルメット着用率は 50%から 90%以上まで上昇した。

同交通警察によれば、これまでヘルメット着用義務違反を取り締まっても、必ず「初めて」と言われて警告するしかなかったため、多くの違反者が処罰を逃れてきた。現在は、顔認証により違反者の身分証番号や違反記録がその場で確認できるため、違

海外安全対策情報

反をごまかすこともできないし取締りの効率も上がっているという。

(8) 12345 ホットラインと 110 番通報の連動（全国）

中国政府ネットは5月16日、「国务院弁公庁 12345 ホットラインと 110 番通報の効率的連動推進に関する意見」を発表した。2023 年末までに関連データを共有し、連動への作業を進める。同意見は、各地区の 12345 と 110 に対し、他方の事案であることが明確な場合は即座に他方に通報すること、受理すべき機関が不明確または責任が交錯する場合は三者通話により確定させることなどを要求している。また、119・120・122 等の緊急ホットラインや電気水道等のライフラインとの連動メカニズムを構築し、自然災害や事件事故等突発事案への素早い対応が求められている。

※ 12345：経済調整・市場監督・社会管理・公共サービス・生態環境保護等の領域における、質問・訴え・意見・緊急でない救助要求等の受理。

110 番：事件・交通関連情報、生命・財産の安全または治安秩序にかかる抗議活動・騒擾事件、その他公安機関の処置が必要な犯罪関連通報、緊急救助要求、及び公安機関や人民警察が現に行っている違法行為または職務怠慢行為の訴えに関する受理

(9) 高所投てき罪の適用状況（青島市）

青島市人民警察院は5月20日、高所投てき罪適用の典型事例に関する記者会見を行った。同罪は、施行から1年が経過しており、主な犯行原因としては、飲酒酩酊が42.9%（6人）を占め、隣人や家庭トラブル、家賃トラブルによる八つ当たりが35.7%（5人）、法律意識の薄弱が21.4%（3人）であった。楊光副検察長は、「公安や行政主管部門と協力し、同罪の抑止と処罰に努めることで、人民の生活を守るとともに新時代の社会主義現代化国際都市建設に貢献していく。」などと語った。

(10) 電動自転車の飲酒運転取締り強化（済南市）

山東省交通管理部は最近、電動自転車による飲酒運転を取り締まった事例を紹介した。済南交通警察天橋大隊に取締りを受けた男性は、「自分は運転していない。電動自転車に乗っていただけだ。」と主張したが、飲酒運転による50元の罰金と、電動自転車で車道を走行した行為により20元の罰金を受けたという。道路交通安全法实施条例第72条には、「自転車・三輪車・電動自転車・障害者用電動車椅子に乗って道路を走行する者は、飲酒してはならない。」と明確に規定されている。

(11) 飲酒運転の集中取締り（済南市）

済南交通警察は、各公安分局治安大隊や禁毒大隊、特警、派出所と連携して夏季集中取締り“利剣行動”を実施し、6月24日から25日午前6時までの間に250件の飲酒運転を取り締まった。うち138件が酒気帯び、112件が酒酔い運転であり、午前0時を過ぎても105件発生した。道交法関連規定では、飲酒運転は6か月の免許停止や1,000元以上2,000元以下の罰金処分となり、再犯した者は10日以下の拘留や同額の罰金、免許取り消しとなるほか、酒酔い運転では免許取り消し後5年間再取得不可となる。また、酒酔い運転は交通事故保険の保証外となったり、入党・入軍・軍学校や公務員の受検が不可能となるなど、職業上のリスクもある。さらに、犯罪記録は一生残り、子供の公務員や軍警察学校の受検、入党等に制限のかかる可能性もある。

(12) 高齢者の詐欺被害対策（山東省）

全国で高齢者に対する詐欺撲滅行動が実施されて以降、山東省公安局各機関は迅速に攻勢をかけて成果を挙げ、現在まで360件の詐欺事件を解決し、41の犯罪グループを摘発し、1.89億元の犯罪収益金を没収している。また、青島・煙台・徳州市各公安局を指揮して4回の集中取締りを実施し、230余人を逮捕、5,000万件余りを没収した。高齢者の詐欺被害予防に関する意識を高めるため、山東省各公安機関はこれまで1.5億回の公益メールを発信し、典型事例40件を紹介、ネット上やそれ以外の活動を含め130回以上の宣伝活動を行っている。

(14) 青島中級法院の薬物事件処理状況（青島市）

青島中級法院は6月23日、5年間の薬物事件処理状況と典型事例について記者発表を行った。5年間で青島両級法院が処理した薬物事件は2,809件3,174人であり、減少傾向にある。2017年は1,047件1,142人であった処理数が、2021年6月～本年5月では224件257人となっており、長期的取締りによる明確な効果が見られた。被告人は無職者や外省人が多数を占めており、中毒者による薬物販売状況が突出し、再犯率は増加している。2020年以来、合成大麻等の新型薬物犯罪が増加傾向にある。

(15) 山東省のマフィア関連の上半期取締り結果（山東省）

山東省委政法委員会は6月28日、マフィア関連の取締りに関する記者会見を開き、本年に入りマフィア3団体、悪勢力犯罪集団9団体、悪勢力犯罪グループ4団体を摘発し、1,134人を刑事拘留した旨を発表した。また、全省の各級規律監査機関は5月までに183件のマフィア関連汚職事案を調査し、231人を指導教育処分とし、14人を司法機関に移送した。凍結、差し押さえたマフィア関連資産は3,699万元に及ぶ。

(16) 警察業務のボランティア組織（青島市）

青島市公安局黄島分局は近年、一般市民を動員したボランティア組織である“義警隊”を設立している。“藍海義警”は、その中の一つであり、隊員は全て青島西海岸新区の“藍海救援隊”のメンバーである。藍海救援隊は、5年前に始まったボランティア組織であり、500余名の隊員の中から選抜した100名の精鋭が義警隊に加入し、公安警察に協力している。

本年3月、黄島分局が強盗事件の被疑者が捨てた凶器を捜索した際には、30名以上の藍海義警が出動して草むらに遺留された凶器を発見した。また今年に入り、警察に協力して摘発した窃盗等各種事件は20件以上に上る。黄島分局は、管理訓練体制を構築し、定期的な組織訓練の実施や賞罰システムを設けることで、義警の責任感や使命感を醸成している。